

学科 学年	D 1	科目 分類	図学 Descriptive Geometry	講義 必修	前期 1 単位	学習教育 目標 B	担当	水野 充 Mizuno Mitsuru
概 要	製図用具の使い方も兼ね、基礎的な図形の描き方を学ぶ。さらに立体の形、大きさを把握し、これを平面上に図示するための投影法、第三角法などの製図の基礎知識を習得し、総合的な製図能力を養う。							
科目目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・製図用具の使い方の習得 ・歯形曲線や正多角形の作図 ・第三角法投影図を正しく理解し描けること ・等角図による立体的図示法の習得 							
教科書 器材等	機械製図 林 洋次監修 実教出版、 演習課題プリント							
評価の基準と 方法	演習課題の内容と期限内提出による評価を80%、授業への積極姿勢を20%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目	なし							
授業計画								
第 1回	図学・製図の必要性、製図規格の概要、製図用具の使い方							
第 2回	基礎的な図の描き方(作図) 角の2等分、線分のn等分、正多角形							
第 3回	歯形曲線 サイクロイド、インボリュート							
第 4回	歯形曲線演習1 サイクロイド							
第 5回	投影図 第一角法と第三角法							
第 6回	第三角法							
第 7回	第三角法演習 1							
第 8回	第三角法演習 2							
第 9回	第三角法演習 3							
第10回	第三角法演習 4							
第11回	第三角法演習 5							
第12回	立体的図示法 等角図、キャビネット図							
第13回	立体的図示法演習 1 等角図、キャビネット図							
第14回	立体的図示法演習 2 等角図、キャビネット図							
第15回	前期期末試験							
オフィス アワー	授業のある火曜日の12時30分より13時まで是非常勤講師室にあります							
授業アンケート への対応	図学・製図の必要性を更に強調する。製図室は細長く声が聞き取りにくいいため、現在も実施中であるが教室の真ん中で話すなどを心がける。							
備 考								